

別府大学学位規程

(目的)

第1条 この規程は、学校教育法第104条及び学位規則（昭和28年文部省令第9号）第13条の規定に基づき別府大学（以下「本学」という。）において授与する学位に関し必要な事項を定める。

(学位の種類)

第2条 本学において授与する学位は、次のとおりとする。

文学部 学士（文学）
食物栄養科学部 学士（栄養学）
 学士（食物バイオ学）
国際経営学部 学士（経営学）
文学研究科 修士（文学）
 〃 博士（文学）
食物栄養科学研究科 修士（栄養学）

(学位授与の条件)

第3条 学士の学位は、本学学則に基づき、所定の課程を修め卒業した者に対し授与する。

- 2 修士及び博士の学位は、本学大学院学則に基づき、所定の課程を修了し、かつ、学位論文の審査及び最終試験に合格した者に対し授与する。
- 3 前項に定めるもののほか、博士の学位は、本学大学院博士課程を修了しない者であっても学位論文を提出して大学院の行う博士論文の審査に合格し、かつ、大学院博士課程を修了した者と同等以上の学力を有することを確認された者にも授与する。

(学位論文提出の資格)

第4条 修士の学位論文を提出できる者は、修士課程（博士前期課程）に1年以上在学し、所定の授業科目について必修・選択あわせて20単位以上を修得しておかなければならない。

- 2 博士の学位論文を提出できるものは、博士後期課程に1年以上在学し、既に所定の単位を修得した者又は論文審査終了までに修得する見込みのある者とする。
- 3 第3条第3項の規定により博士の学位論文を提出できる者は、大学院博士課程を修了した者と同等以上の学力を有する者とする。

(学位論文の提出)

第5条 修士の学位論文を提出しようとする者は、学位授与申請書（様式1）に、学位論文及び論文の要旨を添えて所定の期日までに当該研究科長に提出するものとする。

- 2 前項による学位論文は、1篇とし、2通提出するものとする。ただし、参考として他の論文を添付することができる。
- 3 博士の学位論文を提出しようとする者は、学位授与申請書（様式2）に、学位論文、論文の要旨及び履歴書を添えて所定の期日までに当該研究科長に提出するものとする。
- 4 第3条第3項により博士の学位論文を提出しようとする者は、学位授与申請書（様式3）に学位論文、論文の要旨及び履歴書のほか、学位論文審査手数料を添えて学長に提出するものとする。
- 5 前二項による学位論文は、1篇とし、3通提出するものとする。ただし、参考としての他の論文を添付することができる。
- 6 学位論文審査手数料は、別表のとおりとする。ただし、一旦納入された学位論文審査手数料は返還しない。

(審査委員会)

第6条 前条の規定により提出された学位論文を受理したときは、大学院委員長及び研究科長はそれぞれ当該研究科委員会に審査を付託する。

2 研究科委員会は、審査に付せられた論文について指導教授を主査とし、別に副査を1名定め、当該研究科委員会の議を経て主査、副査を含む審査委員会を設ける。

3 学位論文の審査に当たって必要のあるときは、当該研究科委員会の議を経て、当該研究科以外の教員に副査を委嘱することができる。

(審査の方法)

第7条 審査委員会は、論文の審査及び最終試験を行う。

2 最終試験は、提出論文を中心として専攻分野について精深な学識と研究能力を確認するため口述又は筆記によって行うものとする。

3 審査委員会は、審査のため必要と認めた場合には参考論文その他の審査資料を提出させることができる。

4 審査委員会は、第3条第2項に規定する者の学位論文の審査及び最終試験を、その学年末までに終了しなければならない。

(学力の確認)

第8条 第3条第3項に規定する大学院博士課程を修了した者と同等以上の学力を有することの確認は、筆記試験又は口述試験により行うものとする。

2 本学博士課程に修業年限以上在学し、所定の単位を修得して退学した者が、退学したときから3年以内に論文提出による学位の審査を申請したときは、学力の確認を免除することができる。

(審査の報告)

第9条 審査委員会は、学位論文の審査結果及び最終試験の結果を研究科委員会に報告しなければならない。

2 研究科委員会は、前項の報告に基づき学位論文及び最終試験の合否を審議、決定して大学院委員長及び学長に報告するものとする。

3 前項論文の合否決定をするには、当該研究科委員の3分の2以上が出席し、出席委員の3分の2以上の同意を必要とする。

(学位授与の決定)

第10条 学長は、学位を授与できると認めた者に対し、学士、修士又は博士の学位記を授与する。

2 審査の結果、学位記を授与できない者には、その旨を通知する。

(学位授与の報告)

第11条 学長は、前条により博士の学位を授与したときは、博士学位簿に登録の上、当該学位を授与した日から3月以内に学位授与報告を文部科学大臣に行うものとする。

(博士論文の要旨等の公表)

第12条 学長は、博士の学位を授与したときは、当該博士の学位を授与した日から3月以内に、その学位論文の内容の要旨及び論文審査の結果の要旨をインターネットの利用により公表するものとする。

(博士論文の公表)

第13条 博士の学位を授与された者は、当該博士の学位を授与された日から1年以内に、当該博士の学位の授与に係る論文の全文を公表しなければならない。ただし、当該博士の学位を授与される前に既に公表したときは、この限りでない。

- 2 前項の規定にかかわらず、博士の学位を授与された者は、やむを得ない事由がある場合には、本学の承認を受けて、当該博士の学位の授与に係る論文の全文に代えてその内容を要約したものを公表することができる。この場合において、本学は、その論文の全文を求めに応じて閲覧に供するものとする。
- 3 博士の学位を授与された者が行う前二項の規定による公表は、本学の協力を得て、インターネットの利用により行うものとする。
- 4 学位論文を公表する場合には、別府大学において審査を受けた学位論文であることを明記しなければならない。

(学位名称の使用)

第14条 学位の授与を受けた者が、学位の名称を使用するときは、「別府大学」と付記するものとする。

(学位の取消)

第15条 修士及び博士の学位を授与された者が、不正の方法により学位の授与を受けた事実があると認められたときは、学長は大学院委員会の議を経て学位を取り消し、学位記を返付させ、かつ、その旨を公表する。

- 2 修士及び博士の学位を授与された者が、その名誉を汚す行為があったときは、前項の例により当該学位を取り消すことがある。
- 3 大学院委員会が前2項の議決をなすには、委員の3分の2以上が出席して、その出席委員の4分の3以上の同意を必要とする。

(学位記の様式)

第16条 学位記の様式は、様式4、様式5、様式6及び様式7のとおりとする。

(雑則)

第17条 この規程に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、平成9年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成11年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成14年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和2年4月1日から施行する。

〈別表〉

事 項	学位論文審査手数料
本学博士後期課程在学者及び本学博士後期課程に3年以上在学し、所定の単位を修得、退学後3年未満の期間内に学位論文を提出する者	免 除
本学博士後期課程に3年以上在学し、所定の単位を修得、退学後3年を経過した後学位論文を提出する者	100,000 円
本学博士前期課程（修士課程）修了者及び本学部を卒業した後学位論文を提出する者	100,000 円
法人内専任教職員	100,000 円
上記以外の者	200,000 円

学位授与申請書

年 月 日

別府大学大学院
文学研究科長

殿

※

文学研究科歴史学専攻

学籍番号

氏 名 _____ 印

年 月 日生

別府大学学位規程第5条第1項の規定に基づき、下記のとおり修士（文学）の学位を申請いたします。

論文題目				
指導教授名	論文 枚・資料 点			
修得単位	区分	既修得	本年度登録	計
登録単位	選択科目	単位	単位	単位
指 導 入 教 授	審査記録			合否
	副 査 名	第一希望		
		第二希望		
	専攻長印		指導教授認証印	

注 太線内は本人が記入すること

※(例) 日本語・日本文学専攻の場合は文学研究科日本語・日本文学専攻、文化財学専攻の場合は文学研究科文化財学専攻となる。その他の専攻の場合は、これらの例にならうこと。

学位授与申請書

年 月 日

別府大学大学院
食物栄養科学研究科長 殿

※

食物栄養科学研究科食物栄養学専攻

学籍番号

氏 名 印

年 月 日生

別府大学学位規程第5条第1項の規定に基づき、下記のとおり修士（栄養学）の学位を申請いたします。

論文題目				
指導教授名				論文 枚・資料 点
修得単位	区分	既修得	本年度登録	計
登録単位	選択科目	単位	単位	単位
指導教授記入欄	審査記録			合否
	副 査 名	第一希望		
		第二希望		
		第三希望		指導教授承認印

注 太線内は本人が記入すること

学位授与申請書

年 月 日

別府大学大学院
文学研究科長

殿

※

文学研究科歴史学専攻

学籍番号

氏 名 _____ 印

年 月 日生

別府大学学位規程第5条第3項の規定に基づき、下記のとおり博士（文学）の学位を申請いたします。

論文題目					
指導教授名				論文 枚・資料 点	
修得単位	区分	既修得	本年度登録	計	
登録単位	選択科目	単位	単位	単位	
指導教授欄	審査記録				
	副 査 名	第一希望			
		第二希望			
		第三希望		指導教授認証印	

と注
太線内は本人が記入すること

※(例)日本語・日本文学専攻の場合は文学研究科日本語・日本文学専攻、文化財学専攻の場合は文学研究科文化財学専攻となる。その他の専攻の場合は、これらの例にならうこと。

学位授与申請書

年 月 日

別府大学長 殿

本籍地(都道府県名)又は
国籍(外国人の場合)

ふりがな

氏名

印

生年月日 年 月 日生

貴学学位規程第5条第4項の規定により、必要書類及び学位審査手数料貳拾万円を添えて博士(文学)の学位授与を申請します。

研究科長	教務課	経理課 (審査手数料200,000円)
年 月 日	年 月 日	年 月 日

様式 4

		〇〇第	号
卒業証書・学位記			
大学印	氏	名	
	年	月	日生
	<small>(外国籍の場合は西暦)</small>		
本学〇〇学部所定の課程を修めて本学を卒業 したことを認め学士（〇〇学）の学位を授与する			
令和	年	月	日
別府大学長	〇	〇	〇
			印

用紙の大きさは、J I S規格A 4縦型とする

様式 5 - 1

		別大文修第	号
学			
大学印	氏	名	
	年	月	日生
	<small>(外国籍の場合は西暦)</small>		
本学大学院文学研究科〇〇専攻の博士前期課程 において所定の単位を修得し学位論文の審査およ び最終試験に合格したので修士（文学）の学位を 授与する			
令和	年	月	日
別府大学長	〇	〇	〇
			印

用紙の大きさは、J I S規格A 4縦型とする

様式 5 - 2

		別大食修第	号
学 位 記			
大学印	氏	名	
	年	月	日生
	<small>(外国籍の場合は西暦)</small>		
<p>本学大学院食物栄養科学研究科食物栄養学 専攻の修士課程において所定の単位を修得し 学位論文の審査および最終試験に合格したの で修士（栄養学）の学位を授与する</p>			
令和	年	月	日
別府大学長	○	○	○
			印

用紙の大きさは、J I S規格A 4縦型とする

様式 6

		別大文博甲第	号
学 位 記			
大学印	氏	名	
	年	月	日生
	<small>(外国籍の場合は西暦)</small>		
<p>本学大学院文学研究科○○○○専攻の博 士課程において所定の単位を修得し学位論文 の審査および最終試験に合格したので博士 (文学)の学位を授与する</p>			
平成	年	月	日
別府大学長	○	○	○
			印

用紙の大きさは、J I S規格A 4縦型とする

		別大文博乙第		号
学 位 記				
<div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; display: flex; align-items: center; justify-content: center;">大学印</div>	氏		名	
	年 月 日		生	
<small>(外国籍の場合は西暦)</small>				
本学に学位論文を提出し所定の審査および試験に合格したので博士（文学）の学位を授与する。				
平成 年 月 日				
別府大学長		○ ○ ○ ○	<div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; display: flex; align-items: center; justify-content: center;">印</div>	

用紙の大きさは、J I S規格A 4縦型とする